六月よみとりおけいこ（低）③　　名まえ（　　）

さいきんおかしやさんのみせさきに三かくのおかしがうられているのを知っていますか?あれはみなづきという名まえです。みなづき、というのはあのおかしの名まえでもあるし、六月のべつのいいかたでもあります。

では、なぜあのおかしは三かくなのでしょう?

じつはあれはわれた氷のかたちなのです。そうして、あのおかしにはむかしの人のきもちがこもっていたのです。

どんなきもちかかんがえながらよみましょう。今から千年いじょうまえのこと。今とちがって、そのころはでんきもガスも水どうもありませんでした。びょういんもありませんでした。れいぞうこもありませんでした。人々はお日さまがのぼるとおきて、お日さまがしずむとねました。コンビニもスーパーマーケットもありませんでした。たべものはどうしていたとおもいます?たくわえたお米と畑でつくった少しのやさい。たまにさかながとれたらごちそうでした。つゆのあめでぼっとんべんじょがあふれたら、のみ水とまじり、みんなおなかをこわしました。でんせんびょうもはやりました。たくさんの人がしにました。

むかしのえらい人たちは、冬のあいだ池にはった氷をためておき、一年の半分がすぎた日、六月三十日に氷をさわったりたべたりして、あと半年もげんきですごせるようにおいのりをしました。

人々もおなじことをしたかったのですが、えらいひとたちのようなぜいたくはできません。それで、手に入るお米のこなをつかって氷のかたちをつくって、それをたべることであと半年のけんこうをおいのりしたのです。みなさんもみなづきをたべながらけんこうをいのってみてね。

おんどくサイン→

①なんというおかしのはなしでしょう?
（　　）

②みなづきの、おかしいがいのいみはなんでしょう?
（　　）

③なぜみなづきは三かくけいなのでしょう?
（　　）のかたちをまねたから

④六月にわれた氷をたべることができた人はどういう人?
（　　）

⑤むかしにはなかったものはなんですか?
（　）いえ（　）べんじょ（　）れいぞうこ

⑥いつからかぞえて六月三十日は半年たったことになるのですか?
（　　）

⑦みなづきはなにのこなでできていますか?
（　　）

⑧氷のよみがなは?
（　）こうり（　）こおり（　）こほり

⑨あっているものに○をつけましょう。
（　）みなづきはえらいひとがたべた。
（　）みなづきは人々がくふうしてつくった。
（　）みなづきは六月一日にたべるものだ。

⑩上の文をよんでおもったことをかきましょう。

できばえは?